

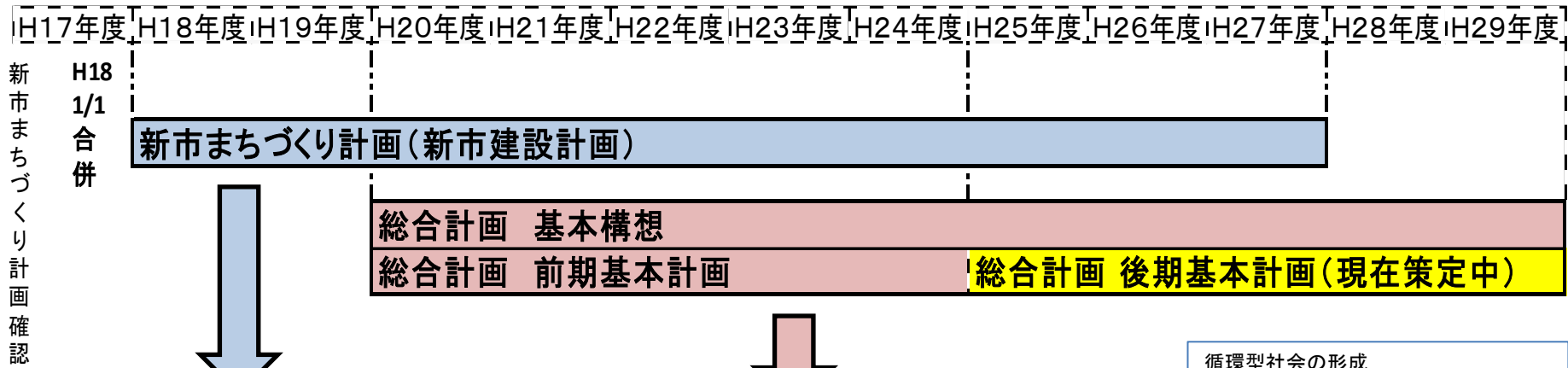


# 津市総合計画後期基本計画 の策定に向けて

平成24年5月15日 津市総合計画審議会

津市長 前葉 泰幸

# 1 津市のまちづくり計画、総合計画



新市まちづくり計画確認

将来像	環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都
基本理念	環境と共生した暮らしやすい都市の実現
	活力のある多様性を持った交流都市の実現
	市民活力に支えられた豊かな文化と心を育む都市の実現
	安全で安心して暮らせる都市の実現

将来像	環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都
まちづくりの目標	美しい環境と共生するまちづくり
	安全で安心して暮らせるまちづくり
	豊かな文化と心を育むまちづくり
	活力のあるまちづくり
	参加と協働のまちづくり

循環型社会の形成  
次世代に残す自然環境の保全・創造  
快適な生活空間の形成  
生活基盤の整備

安全なまちづくりの推進  
健康づくりの推進と地域医療体制の充実  
地域福祉社会の形成

生きる力を育む教育の推進  
高等教育機関との連携・充実  
生涯学習スポーツ社会の実現  
文化の振興  
人権尊重社会の形成

自立的な地域経済の振興  
交流機能の向上  
観光の振興

市民活動の促進  
市民との協働の推進

## 2 審議会に期待する調査審議の視点

津市総合計画審議会の委員の皆様にご期待する後期基本計画の策定に向けての視点は、次の7つです。

- ① 基本構想を尊重した後期基本計画の策定
- ② 合併後10年でやるべきとしていたことの確認と検証
- ③ 地域課題への対応
- ④ 社会経済情勢の変化への対応
- ⑤ 合併特例債の5年延長を見据えた対応
- ⑥ 国・県事業との連携による積極的な事業推進
- ⑦ 対話と連携によるまちづくりの推進

# 3 合併特例債の活用

合併特例債：合併後の市町村が市町村建設計画に基づいて行う事業に対する起債

【充当率】95%

【元利償還金に対する交付税措置】元利償還金の70%を後年度基準財政需要額に算入

【借入可能年度】津市の場合、平成17年度から平成27年度まで(※)

平成19年度～24年度当初予算までの

合併特例債対象事業費及び借入(見込み)額

(単位:千円)

事業名等	起債対象事業費	起債借入額
まちづくり振興基金の設置	4,000,000	3,800,000
久居庁舎改築事業【継続】	233,183	221,500
香良洲庁舎耐震補強等改修事業	62,263	59,100
一志庁舎改築事業	321,839	181,300
地域防災情報通信システム(同報系)整備事業	1,646,178	1,558,900
地域防災情報通信システム(移動系)整備事業【継続】	202,647	192,400
屋内総合スポーツ施設整備事業【継続】	574,732	545,900
北口保育園園舎改築事業	359,720	339,400
たるみ児童福祉会館増築事業	58,247	23,400
新最終処分場建設事業(リサイクルセンター含む)【継続】	459,878	407,900
広域農道整備事業負担金	128,876	119,200
道路新設改良事業【継続】	394,862	375,100
県道一志美杉線道路事業負担金【継続】	320,625	304,500
相川小戸木橋線街路事業負担金	66,250	62,800
消防救急デジタル無線通信指令システム整備事業【継続】	40,000	38,000
美里榊原分署新設事業	269,945	255,300
香良洲分遣所移転改修事業	47,376	45,000
消防車両購入事業【継続】	288,006	217,200
消防団車庫改築・車両購入事業【継続】	28,660	27,100
高規格救急車・資機材購入事業	124,092	73,300
耐震性防火水槽整備事業【継続】	200,470	134,100
給食センター建設事業	1,583,714	1,351,700
給食受入搬出施設改修事業	212,913	201,500
学校施設大規模等改修事業【継続】	1,241,500	888,000
学校施設等耐震整備事業	1,742,723	798,200
放課後児童施設整備事業【継続】	4,169	3,900
中央公民館・社会福祉センター移転改修事業【継続】	112,021	106,300
高宮公民館改修事業	23,549	22,300
合 計	14,748,438	12,353,300

※継続中の事業は後年度も引き続き実施予定のもの

※国において借入可能期間の延長を審議中

- ・議案名  
東日本大震災による被害を受けた合併市町村の特例に関する法律の一部を改正する法律案
- ・改正の概要  
合併市町村のうち被害を受けていない自治体に関し、借入可能年度を「10年度」から「15年度」に改正。
- ・第179回国会にて議案提出され、継続審議となり、現在第180回国会にて審議中。

## 今後の起債借入予定事業

事業名等
新斎場建設事業
(仮称)美杉総合文化センター建設事業
久居駅東側周辺整備事業
消防署施設整備事業
継続中の事業等

# 4-1 屋内総合スポーツ施設

- 概要
  - ・既存スポーツ施設の老朽化への対応とともに、全市的に市民が広く利用でき、健康づくりや競技スポーツ、生涯スポーツ活動の拠点となる、県都にふさわしい総合的な屋内スポーツ施設の整備を進める。
  - ・競技スポーツ(メインアリーナ、サブアリーナ)、健康増進・レクリエーション、屋内プール、武道などの機能を導入

●総事業費 約100億円

●予算額等

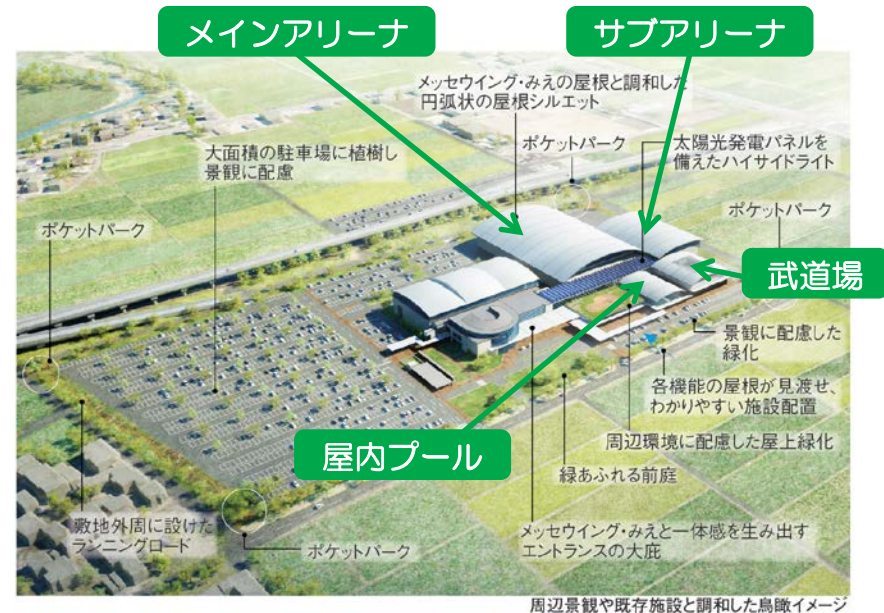
	予算額等(千円)	主な内容
H23.6補正	36,394	測量調査
H23.9補正	635,641	用地取得、基本設計
	140,120	実施設計(債務負担行為)
H24当初	22,677	道路用地測量

●進捗状況

- H23.5.25 メッセウイング・みえの譲渡について三重県知事から内諾を得る
- H23.9 「津市屋内総合スポーツ施設基本計画」策定
- H24.3 「津市屋内総合スポーツ施設基本設計」完了

●スケジュール

- 平成23～25年度 用地取得、設計等
- 平成26～27年度 建設工事
- 平成28年度 供用開始



屋内スポーツ施設アプローチからの景観

# 4-2 新最終処分場

## ●概要【処分場】

全体面積:約40ha 埋立面積:約1.2ha  
 埋立容量:約18万m<sup>3</sup> 埋立期間:15年  
 場所 :美杉町下之川

## 【リサイクルセンター】

(資源物処理施設、破碎選別処理施設)  
 場所:片田田中町

## ●事業費

総事業費		処分場建設 約93億円	リサイクル センター 約57億円	主な周辺整備	
				(仮称)矢頭峠トンネル関係 約40億円※	(仮称)下之川バイパス 約35億円
予 算 額 (千 円)	H23当初	73,390	-	112,500	609,042
	H23.9補正	-	54,700	-	-
	H23.3補正	-	-	22,500	-
	H24当初	142,776	62,800	180,000	663,000

※県事業(市負担金含む)

## ●スケジュール

年度 区分	24	25	26	27	28	29	30	31
環境影響 評価	■							
実施設計	■							
建設工事		■ 1期(9万m <sup>3</sup> )			■ 2期(9万m <sup>3</sup> )			
供用開始					▶			▶



## 4-3 JR名松線全線復旧

- 概要
  - ・平成21年10月の台風18号により被災したJR名松線家城駅から伊勢奥津駅までの区間(17.7km)の運行再開に向け必要となる水路整備等の周辺対策工事を実施する。
  - ・津市は水路整備事業を、三重県は治山事業を、JR東海は軌道整備等を実施。
- 事業費(津市分) 約5億円

### ●予算額

	予算額(千円)	内容
H23当初	40,787	対策工事調査設計等
H24当初	149,704	調査設計・対策工事費等

### ●進捗状況

H23.5.20 JR東海、三重県  
との間で三者協定  
の締結

### ●スケジュール

平成23～24年度 調査・設計  
平成24～27年度 工事



# 4-4 新斎場

- 概要
  - ・既存施設の老朽化、将来見込まれる火葬需要の増加に対応するため、津市半田に建設
  - ・隣接地に緑地公園等を整備し、市民の憩いの場を提供

●施設整備費 約30億円(PFI手法導入)

●予算額

	金額(千円)	内容
H23.9補正	22,067	土壌、地質調査等
H24当初	19,933	PFIアドバイザー業務

●進捗状況

- H23.2 「津市新斎場建設整備計画」策定
- H23.3 津市新斎場整備に係る事業手法調査の完了
- H23.7 事業手法(PFI手法の導入)を決定
- H24.4 実施方針を公表
- H24.5 要求水準書(案)を公表

●スケジュール

- 平成24年度 事業契約の締結
- 平成25~26年度 設計・建設工事
- 平成27年1月 供用開始



新斎場施設等配置図



# 5-1 喫緊の課題 【防災対策】

## 地震・津波等への対応策



### 職員の派遣

東日本大震災被災市町村への職員の派遣

H23.3～H24.3実績	実派遣職員	延べ派遣日数
短期派遣	70名	487日
中・長期派遣	8名	945日

※H24.4から宮城県山元町へ2名の職員(建築・土木)を派遣中。

### 防災施設の整備

「東海、東南海、南海地震」発生に備えた海岸堤防の整備促進  
(栗真町屋、阿漕浦・御殿場海岸 平成23年度より事業着手)  
※津市域の海岸堤防は高潮対策として、TP+6.0mで整備中。

### 緊急避難先の確保

- ・津波発生時の避難場所となる津波避難ビルの指定 計16棟
- ・福祉避難所の指定(52施設)
- ・津波浸水予測地域の27か所の避難所開設制限
- ・小中学校の校舎屋上フェンスの設置、改修(H23年度 設置:香良洲小学校、敬和小学校 改修:藤水小学校、東橋内中学校)
- ・中学校屋内運動場屋上への外付階段、フェンスの設置(H24年度 香海中学校)



### 市民の行動を確認

- 津市地域防災計画「津波対策編」の策定(H23.12.27 策定)
- ・津波注意報、津波警報、大津波警報発表に伴う市民の迅速な退避・避難対策

平成24年度、25年度を「災害対応強化集中年間」と定め、地域の災害対応力の強化

防災対策の更なる強化に向けて

津市地域防災計画の徹底見直し、人員体制の強化

津波対策編に基づく今後の主な取り組み

- ・津波避難先一覧の作成
- ・地域における津波避難計画作成支援等
- ・ハザードマップ作成・充実(標高マップの作成)
- ・海拔表示・避難誘導表示等の整備
- ・孤立対策用災害備蓄品配備
- ・災害時要援護者の避難対策

H24年当初予算  
防災対策  
543,297千円

# 5-2 喫緊の課題 【津市中央公民館、津市社会福祉センターの整備】

●概要 耐震性に課題のある津市中央公民館、津市社会福祉センター等について、津センターパレスを活用することにより、早期の整備を図る。

●経過  
H22.2 「公共施設利活用基本構想」策定  
(旧津警察署跡地、県営住宅跡地の活用による津市中央公民館、津市社会福祉センター等の機能更新)

H23.2 津市文化財保護審議会から旧津警察署跡地への施設建設計画撤回の意見書の提出

H23.8 津市議会全員協議会へ津市中央公民館、津市社会福祉センター等の津センターパレスへの機能導入の方向性を説明

H23.11 津市議会全員協議会へ津市中央公民館、津市社会福祉センター等に係る津センターパレスの一部取得について説明



津センターパレス一部取得(区分所有)による津市の財政負担

	一部取得する場合	賃貸借する場合	津センターパレスを全部購入する場合	旧津警察署跡地に建設する場合
取得費、建設費、改修費の合計	710,346千円	334,156千円	2,652,562千円	1,154,000千円
実質的に必要となる一般財源	287,263千円	334,156千円	2,247,613千円	457,678千円

※金額については、平成23年11月時点の見込みです。  
※旧津警察署跡地に建設する場合については、理論的に検証したものです。  
※賃貸借する場合を除き、合併特例債を算定しています。

H24.2 津市議会全員協議会へ  
(株)津センターパレスの協議結果報告  
(会社としては、一部売却案が最善)

H24当初予算に関係経費525,033千円を計上

●想定スケジュール

- 平成24年度 市役所事務所部分移転  
老人福祉センター等入居部分工事・移転  
中央公民館入居部分工事
- 平成25年度 中央公民館移転  
児童館入居部分工事・移転



# 5-3 久居地域のプロジェクトの現状

## 久居庁舎の耐震化

**●事業概要**  
耐震性に問題のある本庁舎（S41年建築、IS値0.19）、北庁舎（S51年建築、IS値0.19）を撤去し、南庁舎（H6年建築）の東側に新庁舎を建設する。

**●経過**  
地域の意見を踏まえ、新庁舎の施設規模を当初1,300㎡から1,500㎡に変更したが、地域の方々との調整に時間を要している現状にある。



## PORTA久居の現状

入居状況（駐車場等を除くビル全体）

(H24. 5. 1現在)

ビル全体床面積	6,796.20㎡
入居済床面積	3,809.65㎡
入居率	56.06%

- H23.12.31 ㈱マルヤス(約2,044㎡)が撤退
- H24.1.31 全国保険協会三重支部(約716㎡)が撤退
- H24.3.1 大手居酒屋チェーン(約305㎡)入居
- H24.4.30 書店(約174㎡)が撤退

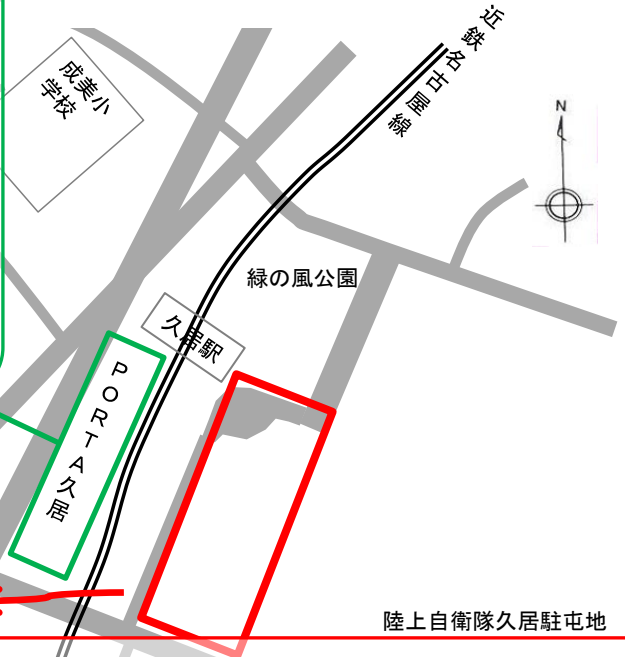
テナント誘致の促進、財務状況の健全化に取り組むとともに、資産又は事業の譲渡や新たな事業手法など、抜本改革に向けた対応策を検討。



## 久居駅東側周辺地区整備事業

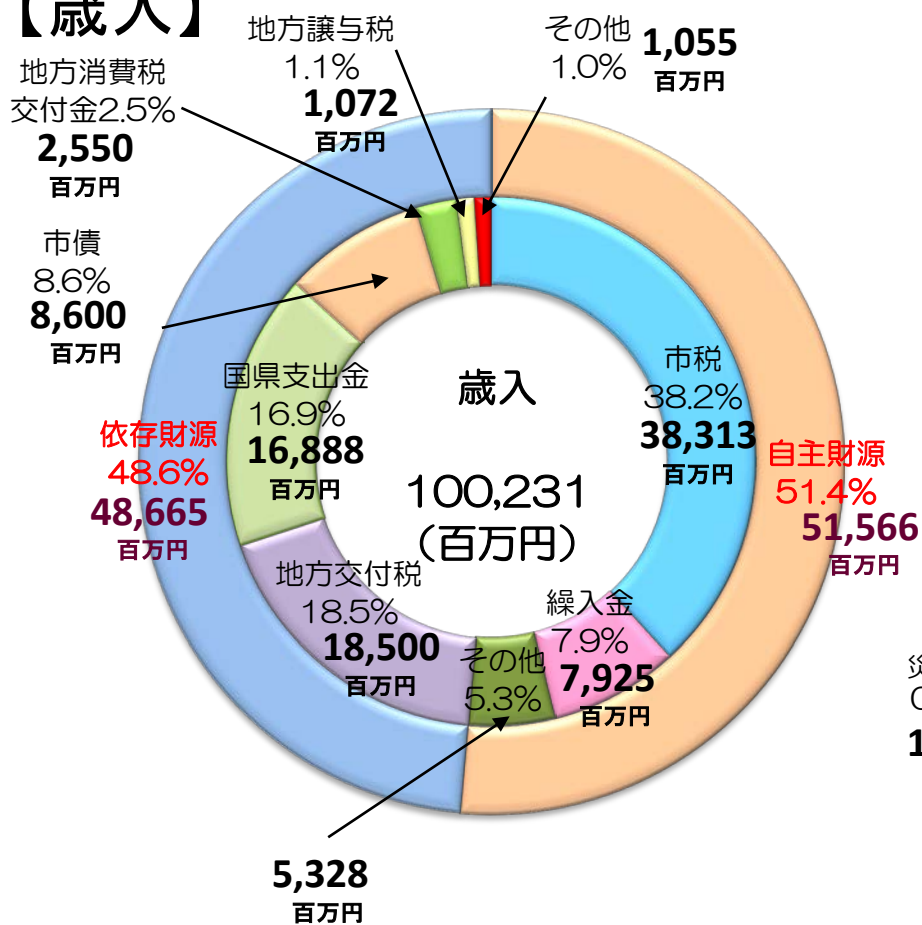
**●事業概要**  
約17,000㎡の区域に、民間を活用して、市民文化センター、保健センター、駐車・駐輪施設、民間施設を整備するもので、旧久居市の総合計画で位置付けられていた事業を津市の総合計画に位置付け、取組を進めてきた。

**●経過**  
H21年に事業の優先交渉権者を決定し、以降、地域への説明会、ワークショップを開催してきたが、地域の方々の理解を得るには至っていないことなどから、市議会に事業プロポーザルによる本事業の推進を断念せざるを得ないことを説明。(H24. 5. 10)

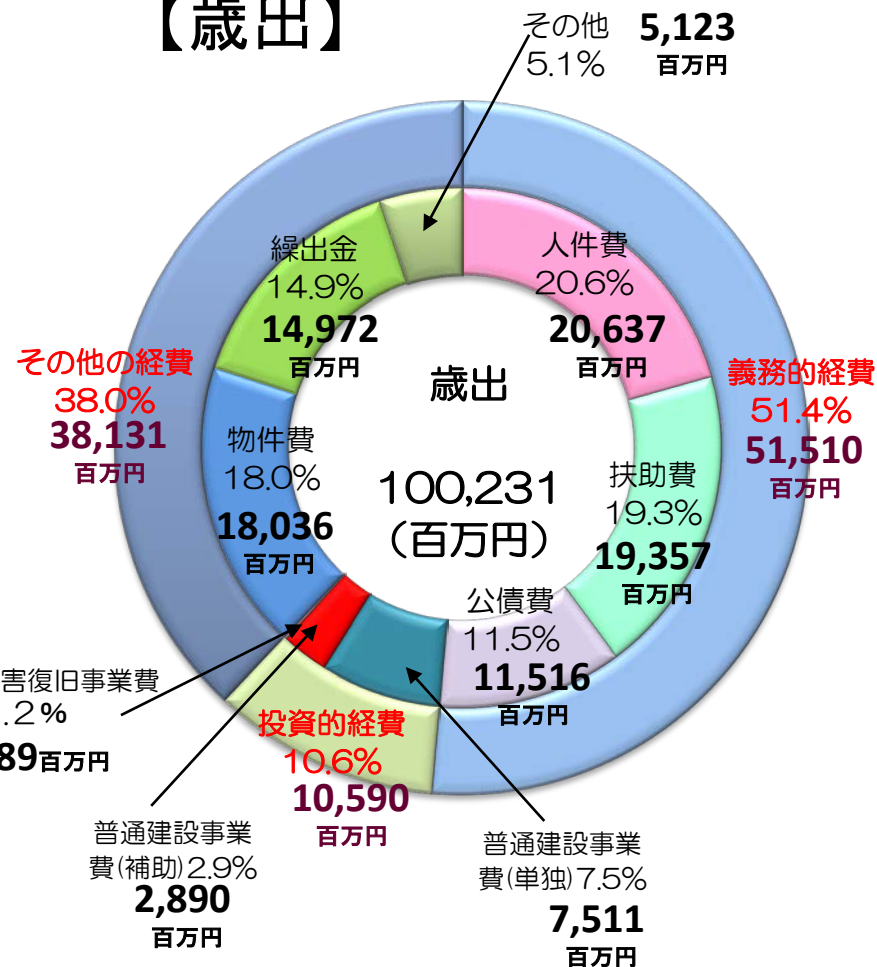


# 6-1 平成24年度一般会計当初予算

## 【歳入】



## 【歳出】



- 全体規模は、H23の実質的な予算規模であるH23.6月補正後と比較して約0.6%の減
- 歳入は、固定資産税評価替えにより市税収入全体で約1.8%の減、市債8.8%の減などを見込む一方、歳出は、人件費約2.6%の減、公債費約5.5%の減などを見込み、重要プロジェクト、公約で掲げた政策課題の実現に向け、投資的経費は約2.3%増の106億程度を確保するなど、メリハリを付けた予算編成

# 6-1-① 平成24年度当初予算のポイント①

ポイント① 「津市としての行政課題に的確に対応」

## メリハリを付けた予算編成

●義務的経費が減になる一方で、事業の緊急度、優先度を踏まえた事業選択を行い、必要な事業へ重点配分

減となる主な経費

項目	減少額	対前年度比
人件費	約5.5億円	2.6%減
公債費	約6.7億円	5.5%減
子ども手当	約14.2億円	23.4%減
計	約26.4億円	

増となる主な経費

項目	増加額	対前年度比
防災対策	約3.1億円	136.0%増
消防力の強化	約1.8億円	4.7%増
救急医療対策	約0.6億円	20.6%増
高齢者福祉対策	約0.7億円	8.9%増
障がい者福祉対策	約2億円	6.1%増
4大プロジェクト	約3.6億円	177.9%増
子育ての推進	約5億円	9.9%増
生活保護への対応	約5億円	13.2%増
津市中央公民館・津市社会福祉センターの整備	約5億円	皆増
計	約26.8億円	

# 6-1-② 平成24年度当初予算のポイント②

## ポイント② 「公約に掲げた政策課題の実現」

公約に掲げた3つの政策の推進 → 「命を守る」「心をつなぐ」「くらしを創る」

主な新規事業、拡充事業について、事業名等と平成24年度当初予算額を記載しています。

【命を守る】

- 防災対策の更なる強化
  - 自主防災活動活性化事業〔新規〕 34,300千円
  - 津波避難計画作成支援事業〔新規〕 11,302千円
  - 海拔表示・避難誘導表示等整備事業〔新規〕 1,281千円
  - 孤立対策用災害備蓄品配備事業〔新規〕 12,131千円
  - 地域防災情報通信システム(移動系)整備事業 205,587千円
  - 中学校屋内運動場屋上改修工事〔新規〕 26,200千円

- 消防力の強化
  - 消防車両の購入 249,859千円
  - 消防団車両の購入 33,343千円
- 救急医療対策の充実
  - 救急・健康相談ダイヤル事業 23,952千円
  - 三重大学地域医療学講座支援事業〔新規〕 34,400千円
- 二次救急医療体制事業 136,761千円

【心をつなぐ】

- 高齢者福祉への対応
  - 生活・介護サポーター事業〔新規〕 6,600千円
  - 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業〔新規〕 20,907千円

- 障がい者福祉への対応
  - 障害児通所支援事業 36,432千円
  - 障害者自立支援法関係事業 3,188,773千円

【くらしを創る】

- 4大プロジェクトの推進
  - 屋内総合スポーツ施設の整備 22,677千円
  - 新斎場の整備 19,933千円
  - 新最終処分場・リサイクルセンターの整備 373,531千円
  - 名松線復旧事業への取組 149,704千円

- 有害鳥獣対策の拡大 46,689千円
- 津市中央公民館・津市社会福祉センターの整備〔新規〕 525,033千円

- 子育ての推進
  - 民間保育所管理運営事業 3,140,250千円
  - 保育所整備事業 220,701千円
  - 子ども医療費助成事業 588,071千円
- 幼保一元化に係るオープンディスカッション〔新規〕 1,200千円

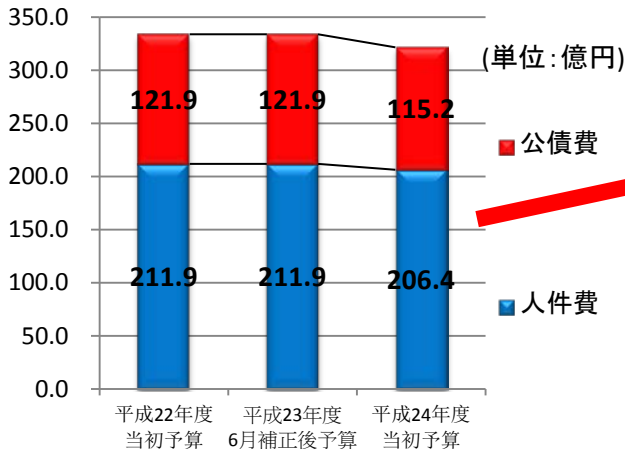
- 生活保護への対応 4,679,587千円

# 6-1-③ 平成24年度当初予算のポイント③

## ポイント③ 「将来にわたる健全な財政運営」



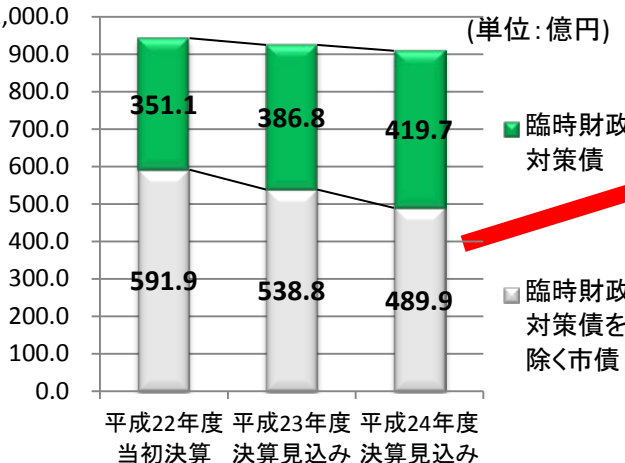
歳出における義務的経費の減



人件費、公債費の削減

合併特例債など元利償還金が地方交付税に算入される有利な市債を発行

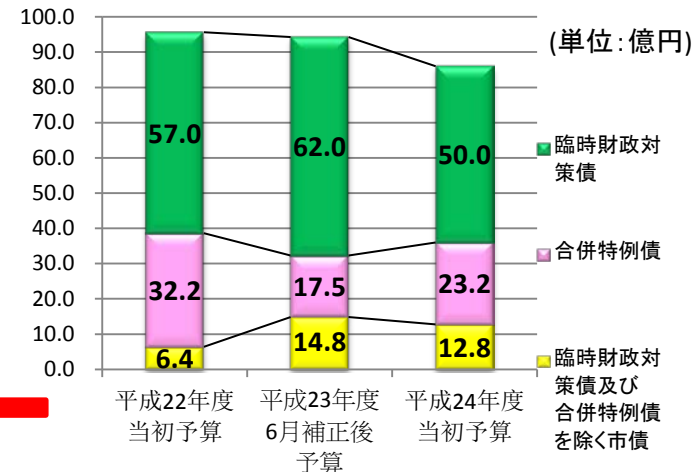
市債借入残高(年度末見込み)



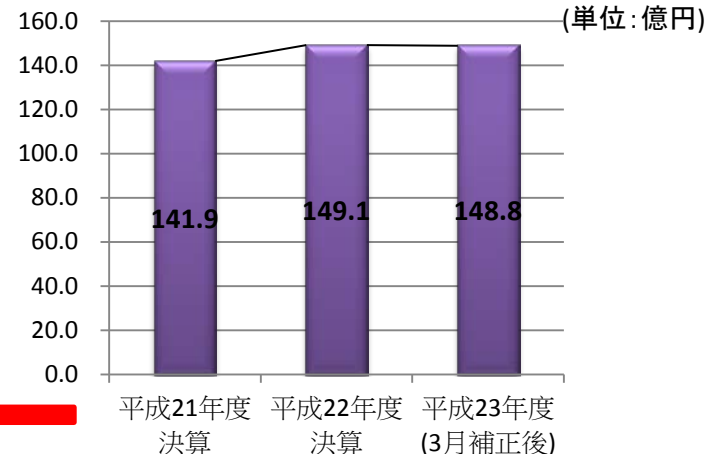
臨時財政対策債を除く市債の借入残高を着実に減少させる

効率的な予算執行に努め、財政調整基金の残高を高水準で維持

歳入における新規の市債発行額



財政調整基金年度末残高



※合併特例債：元利償還金の7割が後年度の地方交付税に算入される市債

※臨時財政対策債：元利償還金の全額が地方交付税に算入される市債

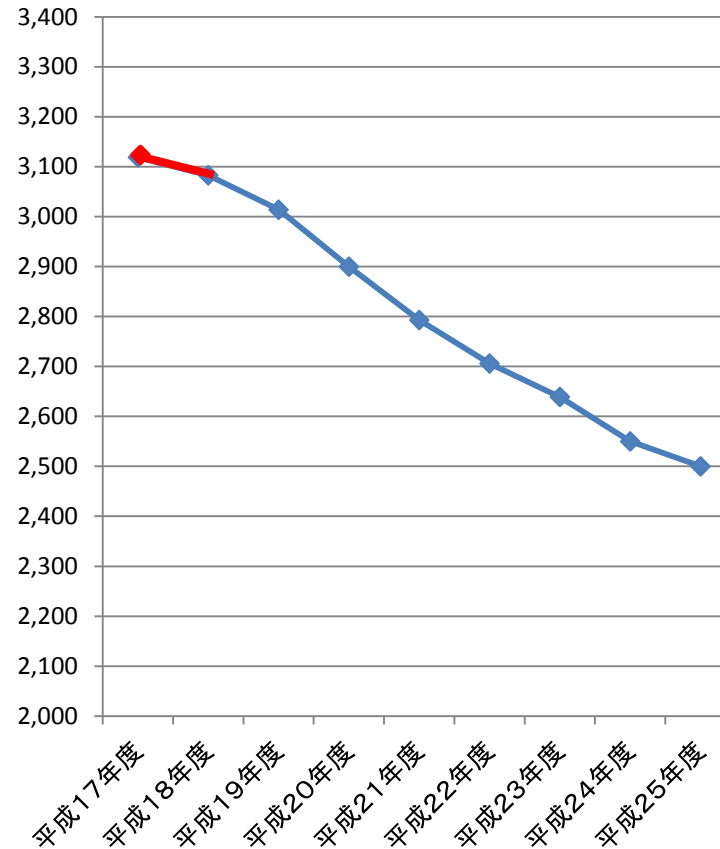
# 7 定員管理

## 職員数の推移

(人)

年度	職員数	備考
平成17年度	3,119	実績  480人減 削減効果 約39億円
平成18年度	3,083	
平成19年度	3,014	
平成20年度	2,900	
平成21年度	2,793	
平成22年度	2,706	
平成23年度	2,639	
平成24年度	2,573	目標 削減効果 約11億円
平成25年度	2,500人体制	

## 職員数



人件費の削減効果は、合併前の職員数3,119人から、2,500人体制となることで50億円程度となる見込み。

## 議員数

合併前	166人	現在	36人
-----	------	----	-----



# 8 「対話と連携」【市民活動の促進】

**これまでの取組**  
 ◎ 市民主導によるまちづくりや役割分担による協働の取組など、一体感のある“元気な津市”づくりのための市民活動の推進

**これからの取組**  
 ◎ 城下町、街道筋の歴史により育まれてきた文化や地域コミュニティなど、津市民が有する高い自治意識をさらに高める仕組みづくり

**1 津市市民活動センターの取組**  
 平成13年～ “多様な市民活動の拠点”



ハコチカ



ワンデイシュフ

**2 津市げんき大学の活動**  
 平成18年～ “津市を元気にしたい！”



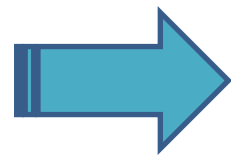
津ぎようざプロジェクト



I LOVE 津市  
フォトコンテスト



げんき大学講座



“対話”と“連携”のまちづくりの推進

